

9月末、筑波山ケーブルカーが運休しているとの情報から、年長児の筑波登山遠足の工程見直しが必要になり、現地調査として登山をしてきました。ここ最近の雨で道のぬかるみが続き、岩場も濡れているので、注意が必要です。子どもたちが登るときはココも気を付けたいと、考えながら登るので、より神経も疲れてきます。とは言え、自然の中に身を置くのは、言葉では言い表せない心地よさがあり、澄んでいる空気を目一杯に深呼吸しました。筑波山そのものの心地よさに加えて、気持ち良かった出来事がありました。それは【挨拶】と【譲り合い】です。

登山者の多くは、すれ違うときに「こんにちは」と挨拶をしてくれます。こちらから声を掛けても「こんにちは」と返してくれます。筑波登山という同じ目的を持っていくからでしょうか、恐らく街中ですれ違っても挨拶しない者同士でも自然と声を掛け合います。そして登山は、基本的に下る人を優先にします。どうぞ、ありがとうございませう、ここでも自然に声を掛けながら、道を譲り合います。後ろの人の方が、ペースが早そうと感じれば、先どうぞと譲ります。

場面は変わり、先日、市内のいくつかの小学校の授業見学に行きました。各校数時間ずつと、短い見学時間でしたが、おぼろげに感じたことがあります。学習意欲が高いと感じる学校は、子どもたちの挨拶がしっかりとっていました。休み時間に廊下にいる私（子どもたちにとっては初めて見たお客さん）に、「こんにちは」と声を掛けてくれました。1人2人ではなく、すれ違う子はもれなくといった様子です。そして、廊下の曲がり角でバツタリと出会った子はとても自然に「どうぞ」と道を譲ってくれました。

山も学校も、「自分」と「誰か」が心地よく過ごせるようにと考えたことが、自然で自発的な行動として表れているように思います。経験の余白が多い幼児には、まだキッカケが必要です。大人に促されながら大人を真似ながら、少しずつ、余白に書き足されていくのでしょうか。

園長 梶原 秀一

今月の予定

筑波登山遠足〈5歳児のみ〉

10/2（金）

ぞうグループが筑波山に登ります！登るのは大変ですが、一步一步進むことで着実に頂上に近づいて行きます。天候に恵まれることを願うばかりです。

交通安全教室

10/6（火）

今回は「安全な歩き方」について教えていただきます。ご家庭でも道路の歩き方など確認してくださいね。

カレーライスの日

10/16（金）

みんなで協力して調理するカレーライスの日です。実は最近、アレルギーフリーのカレールーを使用するようになったので、みんなで同じものを食べられるようになりました。

おべんとうデー

10/21（水）

子どもたちが大好きなお弁当の日です。愛情たっぷりのお弁当を喜んでいきますよ。以前配布した「お弁当に関してのお願い」を再度お読みになり、ご協力をお願いいたします。

誕生会

10/29（木）10:00～

10月生まれの誕生会です！年長児がエスコートキッズとして、誕生児のお友だちをステージまで案内してくれます。みなさんでお祝いしますよ！

各検診・検査の予定

内科検診 11月予定
歯科健診 11月26日（木）
尿検査 12月9日（水）

☆お知らせ・★お願い

☆小学校就学時健診があります

年長児を対象に各学校で小学校就学時健診の実施があります。各ご家庭に通知があるかと思しますので、それぞれで予定をご確認ください。基本的に13時からの受付実施となりますが、午前中は保育園に登園して頂いても問題ありません。

☆わくわくフェスティバル（運動会）について

11月7日（土）9時から12時予定

後日手紙を配布いたしますのでご確認をお願いいたします。また、保護者確認用シールについても別途アンケートを配信いたしますので、ご協力をお願いいたします。

☆9月誕生会 配信中！

9月生まれの誕生会を配信しております。10月20日までの公開といたしますので、ご家族でお楽しみください。

★誕生会见学の方へ

見学希望をされる保護者の方は、人数把握のために担任までお知らせいただきますようお願いいたします。

子ども達の未来に責任を持つ。

ワンパク坊主だった。夏休みは、一日中遊び回っていた。夏の夕方、お腹を空かせて家路に着く頃に、よく夕立に会った。急にザツときて、すぐに上がった。夕立に会うと、軒下で街の風景を眺めながら、雨上りを待った。ビルの玄関の段差のあるステップがいい。そこに腰掛け、雨の中を行き交う人をボーとながめていた。雨がアスファルトをたたきつけ、飛沫になり、飛び散るのをスローモーションのように眺めていた。雨上りは、西の空が、夕焼けになったり、たまに虹がかかった。夕暮れの街は涼しげに輝いていた。夕焼けや虹を見上げながら家路についたのをまぼろしの様に思い出す。

今は、夕立にかわって、ゲリラ豪雨、線状降水帯、命にかかわる増水。日本国中どこでも、集中豪雨にみまわれ、水没してもおかしくない。世界中が、温暖化、気候変動による災害にあっている。ヒマラヤや、アルプスの氷河が溶け大災害をもたらしている。海水が温められ水蒸気になって、雨雲が重なり、豪雨となる。海面が上昇し、水没する島、地域がある。気温が上昇し、世界中が高温になり、涼しいヨーロッパでは、エアコン不要だったのに、40度超えが常態化し、死者も出ている。山火事も頻繁に発している。

子ども達の未来はどうなってしまうのだろう。それなのに、未来に責任を負うべき政治家の誰も地球環境のことを問題にしない。それどころか、「地球温暖化はフェイクだ。化石燃料をどんどん掘れ、どんどん使い、経済を活性化しろ」と、金儲けのことしか考えない奴が世界のリーダーに。

大人の私達も大いに責任がある。今さえ良ければいいと、子ども達の未来を考えて来なかった。子ども達の未来と地球環境を訴える政治家を選んでこなかった。なに脳天気なことを言っているといわれるでしょうが、競争と、コスパダ、タイパだと自分達を追い込んでしまった。もっとゆったり、のんびり、楽しく生活できる社会をつくりたいと願っている。

理事長 浅田 精利